

令和5年度上半期資金運用状況等について

国立大学法人徳島大学

【運用方針】

運営費交付金等の削減により将来的な収入財源の縮小が予想される中、国の法律改正を受け従来からの元本保証のある金融商品から、リスクは伴うが、より収益性の高い金融商品への運用が可能となりました。

本学では、教育研究等の中長期的な財政基盤の強化を図るため、当面支払の予定のない寄附金等の余裕金を原資として、安全性及び流動性を十分に配慮し、より収益性の高い金融商品へ運用を拡大することで安定した利息収益の確保を目指します。

1 資金運用管理委員会の開催状況

① 第1回（令和5年6月7日開催）

② 第2回（令和5年8月28日開催）

③ 第3回（令和5年9月14日開催）

2 資金運用状況

区分	商品種別	運用収益※1	前年度上半期 運用収益	対前年度 増減額※2
短期運用	大口定期預金	2,720千円	2,329千円	391千円
	譲渡性預金			
	金銭信託			
	外貨定期預金			
中・長期運用 (1年超の運用)	金銭信託	19,745千円	14,908千円	4,836千円
	電力債			
	事業債			
	投資信託			
総運用収益額		22,465千円	17,237千円	5,227千円

※1 運用収益 令和5年度上半期中に利払があったもののみを計上しています。

※2 対前年度増減額 単位未満で四捨五入を行っているため、差額が一致しない場合があります。